

令和6年度

事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)



社会福祉法人 美和会

目 次

本部事業報告編

1 事業の現況	1
2 役職及び職員状況	1
(1) 理事及び監事	1
(2) 評議員	1
(3) 職員構成	2
3 役員会の開催状況	3
(1) 理事会	3
(2) 評議員会	4
(3) 監査	4
4 組織運営の概要	4
運営の総括	4
5 ボランティア・実習生受け入れ	7
(1) ボランティア受入れ状況等	7
(2) 小中学校受入れ状況	7
(3) 慰問等来訪者	7
(4) 実習生受け入れ	8
6 役員・職員の研修状況	8
(1) 役員（理事・監事）	8
(2) 施設長の研修参加状況	8
(3) 法人施設内定期職員研修	9
7 施設整備実施状況	10
(1) 養護老人ホーム喜楽園拠点会計	10
(2) 特別養護老人ホーム喜楽園拠点会計	10
8 電気エネルギー使用状況	11
9 避難訓練実施状況	11
10 職員全体数	12

事業別実施報告編

I 措置（委託）事業	13
1 養護老人ホーム喜楽園	13
2 生活管理指導短期宿泊事業（生活指導型ショートステイ）	16
3 配食サービス事業	16
II 介護保険事業	17
1 特別養護老人ホーム喜楽園	17
2 デイサービスセンタースマイル	24
3 ヘルパーステーションスマイル	28
4 喜楽園居宅介護支援事業所	30
5 給食提供事業（栄養課）活動報告	33

本部事業報告編

1 事業の現況

(1) 事業の概要

事業区分	事業名	事業開始年月日	定員
第1種社会福祉事業	養護老人ホーム喜楽園	昭和43年10月1日	50名
	特別養護老人ホーム喜楽園	昭和58年4月1日	60名
第2種社会福祉事業	デイサービスセンター スマイル	平成元年2月1日	25名
	ヘルパーステーション スマイル	平成12年4月1日	—
	喜楽園居宅介護支援事業所	平成12年4月1日	—
	喜楽園ショートステイ (空床利用型のみ)	平成12年4月1日	—
公益事業	配食サービス事業	平成12年4月1日	—

2 役職及び職員状況

(1) 理事及び監事 (任期：令和5年6月16日～令和7年6月定時評議員会終結時)

役職	氏名	備考
理事長	児玉 勇	
理事	古原 伸史	
理事	佐々木 淑也	
理事	竹河 興一郎	
理事	森田 和利	
理事	柚木 隆憲	
監事	佐々木 求	
監事	佐々木 雅啓	
合計	理事 6名 監事 2名	

(2) 評議員 (任期：令和3年6月18日～令和7年6月定時評議員会終結時)

役職	氏名	備考
評議員	久保 克吉	
評議員	坂田 芙美恵	
評議員	塚本 白枝	
評議員	富田 正則	
評議員	松茂 史子	
評議員	栗矢 秀樹	
評議員	行原 雅典	
合計	7名	

(3) 職員構成

(令和6年10月1日現在)

養護老人ホーム 喜楽園			
職名	職種別職員定数	前年比較	備考
施設長	1名	—	特別養護老人ホーム施設長兼務
事務長	1名	—	養護老人ホーム施設長兼務
事務員	1名	—	
管理者	1名	—	介護部長兼務
課長	1名	—	主任相談員 / 計画担当者兼務
計画作成担当者	1名	—	副主任 生活相談員兼務
支援員・介護員	7名	—	主任支援員1名 (パート職員1名)
看護師	1名	—	看護課長兼務
栄養士	1名	—	主任栄養士
調理員	2名	—	(パート職員1名) 食器洗浄4名は含まず

特別養護老人ホーム 喜楽園			
職名	職種別職員定数	前年比較	備考
施設長	1名	—	養護老人ホーム施設長兼務
事務長	1名	—	
管理者	1名	—	介護部長兼務
課長	1名	—	介護員兼務
事務員	2名	—	主任1名
相談員	1名	—	計画担当者兼務
介護支援専門員	3名	△1名	相談員1名・介護員2名 兼務
介護員	19名	—	主任2名, 副主任1名 (パート職員3名)
看護師	5名	—	副主任1名 (契約職員2名)
機能訓練指導員	2名	—	理学療法士1名・看護員兼務1名
栄養士	1名	—	課長 (管理栄養士) 1名
調理員	3名	—	(パート職員1名)
清掃業務	3名	—	(パート職員)
営繕業務	1名	—	(パート職員)
食事介助	5名	1名	(パート職員)

デイサービスセンター スマイル			
職名	職種別職員定数	前年比較	備考
管理者	1名	—	介護部長兼務
課長	1名	1名	相談員兼務
相談員	2名	—	主任生活相談員1名, 課長兼務1名
介護員	5名	—	相談員兼務1名, パート職員1名
看護師	1名	—	
送迎運転手	1名	—	非常勤職1名

喜楽園居宅介護支援事業所			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
管理者	1名	—	課長兼務
課 長	1名	—	サービス管理責任者、主任ケアマネ兼務
課長補佐	1名	—	介護支援専門員
介護支援専門員	1名	—	

ヘルパーステーション スマイル			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
管理者	1名	—	介護部長 1名
課 長	—	—	
ヘルパー（常勤）	1名	—	サービス提供責任者兼務
ヘルパー（登録）	7名	△2名	（非常勤職員 7名）

喜楽園配食サービス			
職 名	職種別職員定数	前年比較	備 考
配達員	2名	—	（非常勤職員 2名）

3 役員会の開催状況

(1) 理事会

開催年月日	出席数	議 題
第1回 令和6年6月10日	理事 5名 監事 2名	1 令和5年度 事業報告の承認について 2 令和5年度の計算書類等及び財産目録の承認について 3 給与規程の一部改正について 4 役員等職務権限規程の一部改正について 5 定時評議員会の招集について
第2回 令和6年12月18日	理事 6名 監事 2名	1 令和6年度第1回収支補正予算（案）の承認について 2 経理規程の一部改正について 3 評議員選任・解任委員会委員の承認について 4 第1回臨時評議員会の招集について 5 その他報告事項（理事長業務執行状況ほか）
第3回 令和7年3月20日	理事 5名 監事 2名	1 令和6年度 第2回収支補正予算（案）の承認について 2 令和7年度 事業計画（案）の承認について 3 令和7年度 当初収支予算（案）の承認について 4 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 5 第2回 臨時評議員会の招集について 6 その他報告事項（理事長職務執行状況ほか）

※9月には、理事懇談会を開催し、事業活動収支状況及び理事長職務執行状況の報告並びに運営に関する諸課題等について意見交換を行いました。

(2) 評議員会

開催年月日	出席数	議 題
令和6年6月25日	評議員 7名 監事 1名	1 令和5年度事業報告及び令和5年度の計算書類等並びに財産目録の承認について
令和6年12月26日	評議員 6名 監事 1名	1 令和6年度 第1回収支補正予算(案)の承認について 2 報告事項(外国人技能実習生受入れ計画)
令和7年3月28日	評議員 7名 監事 1名	1 令和6年度 第2回収支補正予算(案)の承認について 2 令和7年度 事業計画(案)の承認について 3 令和7年度 当初収支予算(案)の承認について

(3) 監査

ア 法人監事による監査の実施

実施年月日	実 施 内 容
令和6年6月3日	令和5年度事業報告書及び令和5年度決算書, 利用者預り金など

イ 所轄庁による指導監査・調査の実施

実施機関	内 容	
三次市長 (社会福祉課)	指導監査日	令和6年11月12日
	指導監査対象	社会福祉法人等指導監査
	指 摘 事 項	文書指摘事項なし
三次市長 (高齢者福祉課)	指導監査日	令和6年9月19日
	指導監査対象	デサービスセンタースマイル事業所(運営指導) ヘルパーステーションスマイル事業所(運営指導)
	指 摘 事 項	文書指摘事項なし

4 組織運営の概要

運営の総括

施設運営の基本は、ご利用者本位のサービスに努めるという基本理念のもと、利用者一人ひとりの尊厳を守り、健康で安らかな生活を送れる施設づくりを目指すとともに、在宅サービス部門においては、地域の高齢者人口減少を背景に新規利用者が減少しつつある中で、全事業部署がより一層連携を密にすることで、特養との日々の空床利用の調整をはじめ、デイサービスでの在宅利用と養護利用との利用バランス等を考慮しながら利用者一人ひとり状況を的確に把握し、適切なサービス提供と稼働率向上に努めてまいりました。

令和6年度では3年に一度の介護報酬改定が行われ、従事者への賃上げのための処遇改善加算の新しい算定方法が導入されたことにより、コロナの影響や人材不足による稼働率の低下等による経営の悪化に一定の

歯止めがかかったものの、長引く物価高騰は食材費や業務委託費等の経費をさらに押し上げ、事業費・事務費の支出負担が増加しています。

こうした社会情勢の変化を背景に、令和6年度事業活動収支においては、在宅部門の稼働率が低下と大口寄附金がなかったにも関わらず、総収入額では、昨年度を12,564千円上回る490,221千円を確保することができました。一方、総支出額では、人件費の増額、物価高騰等を要因に、昨年度を大きく上回る456,034千円(昨年度比25,542円増)と増大しています。その結果、事業活動による収支差額は、34,187千円(昨年度比△12,978円)の黒字決算を維持することができました。

また、人材確保の面においては、新規採用者7名(正職3名、契約職4名)の入職がありました。その内介護職(正職)2名は定着できず退職となりましたが、これまで採用できていない理学療法士(20代)と言語聴覚士(30代)の資格取得者を新たに採用できたことは、美和会が目指す「介護サービスの資質向上」を推進するにあたり、リハビリや機能訓練等の取組を強化し、喜楽園の大きな魅力(強味)につなげていけるよう職場全体のチームワークを高め、人材定着と育成に努めてまいります。

(1) 施設の透明性の確保(情報公開)

取り組み	成 果
美和会ホームページによる情報公開	☆ 現況報告書、貸借対照表及び収支計算書等法人経営状況の情報公開
	☆ 新着情報欄に「お知らせ」コーナーを開設し、施設訪問状況や一日縁日、敬老祝賀会等行事の写真を掲載し家族や地域への情報提供に努めました。
	☆ 職員採用に関する情報提供
	☆ 「喜楽園だより」HP公開
	☆ 年間 HP アクセス 54,296件(前年44,362件)・148.7件/日
広報紙の発行	☆ 喜楽園だより 第28号(令和6年4月発行)
	☆ 喜楽園だより 第29号(令和6年7月発行)
	☆ 喜楽園だより 第30号(令和6年10月発行)
	☆ 喜楽園だより 第31号(令和7年1月発行)
家族会交流会の実施	☆ 新型コロナウイルス感染症発症から途絶えていた家族会行事を5年ぶりに令和6年10月6日に集合型(食事なし)で開催しました。
	☆ 当日の総会及び神楽鑑賞会に、喜楽園入所者の34家族54名(特養24家族39名、養護10家族15名)参加いただきました。

(2) 組織力アップの対策

取り組み	成 果
“定例管理職・主任運営会議”の開催(1回/月)	☆ 組織的運営方針の統一化による各職場への周知徹底
	☆ 職務責任の明確化と各部署連携強化
	☆ 経営的視点を持った職場改善への問題意識を共有
職員行動宣言の周知・徹底	☆ 職場単位の朝礼において、美和会基本理念及び職員行動宣言の唱和が定着し、組織の一員としての自覚が高まっている。

(3) 人材育成のためのキャリアパス・人事処遇制度

取り組み	成 果																																																													
人事処遇制度の運用	<p>人材育成型評価制度の実施</p> <p>☆評価体系 ①行動能力評価 ②職業能力評価 ③目標取組評価</p> <p>☆評価時期 第前期： 4月1日～9月30日 (54名実施) 第後期： 10月1日～3月31日 (48名実施)</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 評価者 ①本人 ②上司</p> </div> <p style="text-align: center;">評価制度の体系</p> <p>① 行動能力評価 組織人として求められる行動や 基本業務の遂行能力 50点満点</p> <p>② 職業能力評価 職種ごとに求められる職業能力 30点満点</p> <p>③ 目標取組評価 2つの目標を評価期間ごとに 設定し、上司と本人との話し合 いに基づき評価 20点満点</p>																																																												
キャリアパス支援制度の運用	<p>(1) キャリアパス支援のための研修等機会の充実</p> <p>☆ 令和6年度 施設外研修参加状況 (オンライン研修含む)</p> <p style="text-align: center;">受講件数 20件 参加人数 31名</p> <p>〈 受講内訳 〉</p> <table border="1" data-bbox="619 1167 1417 1525"> <thead> <tr> <th>研修区分</th> <th>件数</th> <th>参加人数</th> <th>研修区分</th> <th>件数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全運転管理者研修</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>栄養・調理技術</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人権擁護・成年後見</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>報酬改定等事務</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>介護技術に関する研修</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>感染症予防(コロナ)</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護技術に関する研修</td> <td></td> <td></td> <td>衛生管理者研修</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>相談支援技術に関する研修</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>管理者養成研修</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症ケア研修</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>中堅・リーダーシップ養成</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全対策担当養成研修</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>組織運営セミナー</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定調査員研修</td> <td></td> <td></td> <td>雇用労働関係講習</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ケアマネ相談支援研修</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>その他(研究発表)</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		研修区分	件数	参加人数	研修区分	件数	参加人数	安全運転管理者研修	1	1	栄養・調理技術	3	3	人権擁護・成年後見	2	4	報酬改定等事務	3	12	介護技術に関する研修	1	2	感染症予防(コロナ)	4	4	看護技術に関する研修			衛生管理者研修	1	1	相談支援技術に関する研修	1	2	管理者養成研修	1	1	認知症ケア研修	2	3	中堅・リーダーシップ養成			安全対策担当養成研修	2	3	組織運営セミナー	1	1	認定調査員研修			雇用労働関係講習	2	3	ケアマネ相談支援研修	2	3	その他(研究発表)	1	3
研修区分	件数	参加人数	研修区分	件数	参加人数																																																									
安全運転管理者研修	1	1	栄養・調理技術	3	3																																																									
人権擁護・成年後見	2	4	報酬改定等事務	3	12																																																									
介護技術に関する研修	1	2	感染症予防(コロナ)	4	4																																																									
看護技術に関する研修			衛生管理者研修	1	1																																																									
相談支援技術に関する研修	1	2	管理者養成研修	1	1																																																									
認知症ケア研修	2	3	中堅・リーダーシップ養成																																																											
安全対策担当養成研修	2	3	組織運営セミナー	1	1																																																									
認定調査員研修			雇用労働関係講習	2	3																																																									
ケアマネ相談支援研修	2	3	その他(研究発表)	1	3																																																									
	<p>(2) 人材定着率の向上 (離職率の低下目標)</p> <p>令和6年度目標値 離職率 0% (前年度離職率 2.9%) 令和6年度実績値 離職率 5.9% ↑前年度比較 3.0%)</p> <p>〈内訳〉</p> <table border="1" data-bbox="655 1800 1422 1951"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>中途離職者数</th> <th>離職率の算定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護職 (正職員)</td> <td>3名</td> <td rowspan="2">雇用保険加入者数 68名 4名/68名×100=5.9%</td> </tr> <tr> <td>介護職 (契約職員)</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>※R5年度 離職者2名</td> </tr> </tbody> </table>		職 種	中途離職者数	離職率の算定	介護職 (正職員)	3名	雇用保険加入者数 68名 4名/68名×100=5.9%	介護職 (契約職員)	1名	計	4名	※R5年度 離職者2名																																																	
職 種	中途離職者数	離職率の算定																																																												
介護職 (正職員)	3名	雇用保険加入者数 68名 4名/68名×100=5.9%																																																												
介護職 (契約職員)	1名																																																													
計	4名	※R5年度 離職者2名																																																												

(4) 人員確保対策

取り組み	成 果																																
積極的な募集情報の発信と職員紹介者制度の活用	<p>ハローワークや求人サイト等を活用し、最新募集情報の更新に努めました。厳しい雇用環境の中にあっても、ハローワーク等を通じて実務経験のある介護職 1 名と介護サポーター2 名と知人紹介にて機能訓練指導員資格者 2 名、看護職（パート）1 名を新規雇用しました。</p> <p>令和 6 年度職員採用実績（定着者のみ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>正規職員</th> <th>契約職員 (パート含む)</th> <th>定年再雇用 適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護職</td> <td>1 名</td> <td></td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>看護職</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケアマネ</td> <td></td> <td></td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1 名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td></td> <td>1 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護サポーター</td> <td></td> <td>2 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3 名</td> <td>4 名</td> <td>2 名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	正規職員	契約職員 (パート含む)	定年再雇用 適用	介護職	1 名		1 名	看護職	1 名	1 名		ケアマネ			1 名	理学療法士	1 名			言語聴覚士		1 名		介護サポーター		2 名		計	3 名	4 名	2 名
区分	正規職員	契約職員 (パート含む)	定年再雇用 適用																														
介護職	1 名		1 名																														
看護職	1 名	1 名																															
ケアマネ			1 名																														
理学療法士	1 名																																
言語聴覚士		1 名																															
介護サポーター		2 名																															
計	3 名	4 名	2 名																														
魅力ある福祉・介護の職場宣言 ～ひろしま～	<p>令和 6 年度も広島県福祉・人材確保等総合支援協議会「スタンダード認証法人」の認証を受け、業界全体での広範なイメージ改善・普及に努めました。</p>																																

5 ボランティア・実習生受け入れ

(1) 小中学校受入れ状況

月 日	学 校 名	人数	内 容
2 月 5 日	三和中学校 3 年生	9 名	折り紙や手作りカードなどで養護老人ホーム入所者との交流
2 月 12 日	三和小学校 5 年生	11 名	作りゲーム持参による養護老人ホーム入所者との交流

(2) 慰問等来訪者

月 日	来 訪 者 名	人数	内 容
4 月 26 日	大力谷演芸グループ 様	7 名	琴・オカリナの演奏と舞踊・手品の披露
5 月 19 日	シンガーソングライター-KYOUKO 様	1 名	ミニコンサート
6 月 12 日	三次市人権擁護委員協議会 様	5 名	人権紙芝居上演と悩みごと相談
9 月 15 日	三次芸能クラブ 様	38 名	敬老会祝賀訪問（踊り・民謡ほか）
12 月 22 日	読み聞かせボランティア堀家 道子様	1 名	紙芝居や朗読

(3) 実習生受入れ状況

研修期間	学校・機関名	科目名	実習内容	人数
—	—	—	—	—

6 役員・職員の研修状況

(1) 役員（理事・監事）

研修月日	研修会名・講座名	主催	場所
1月9日 ～1月30日	社会福祉法人監事研修	広島県社協 (オンライン動画)	自宅(2名)

(2) 施設長の研修参加状況

研修月日	研修会名・講座名	主催	場所
5月31日	施設長研修 「ITC × 生産性向上」 ～今後の介護経営における必修テーマ～	広島県老人福祉施設連盟	シェラトングランドホテル広島
8月20日	社会福祉法人経営セミナー（前期） テクノロジー等の活用と社会福祉法人経営	広島県社会福祉法人経営者協議会	広島県社協会館
9月19日 ～20日	第55回中国地区老人福祉施設研修大会	中国地区老人福祉施設協議会	松江市くにびきホール
11月15日	令和6年度企業トップクラスを対象とした採用選考に係る人権問題研修会	三次職業安定所	みよしまちづくりセンター
12月4日	社会福祉法人経営セミナー（後期） 「未来の年表から読み解く～未来の社会福祉法人を考える～」	広島県社会福祉法人経営者協議会	広島県社協会館
2月10日	養護老人ホーム部会&施設長研修 「養護老人ホームを取り巻く現状と課題」	広島県老人福祉施設連盟	広島県社協会館
2月26日	令和6年度生産性向上普及促進セミナー 「介護職場の生産性向上に取り組むための考え方とポイント」	広島県老人福祉施設連盟	広島県社協会館
3月7日	施設長研修 「介護・福祉の現状と潮流 ～2024年度介護保険制度報酬改定から考える～」	広島県老人福祉施設連盟	シェラトングランドホテル広島

(3) 法人施設内定期職員研修

日 程	研修会名・講座名	参加人数	備考 (講師等)
4月16日	虐待防止・事故防止・身体拘束適正化への取組み 『不適切ケアを振り返ろう～虐待・事故ゼロをめざして』	27名	事故防止委員会
5月21日	感染予防及びまん延防止のための研修及び訓練 「食中毒予防について」	30名	食事委員会
6月18日	BPC (業務継続計画) 自然災害編 職員研修、非常食の活用法・試食会	21名	施設長 栄養課 管理栄養士
7月23日	三次ブロック研究発表会 美和会予選会(1) 居宅『続・在宅で生活するために』～チームで支える難しさ～ ヘルパー『スマイルクッキング～困った時』にどうするの?』 栄養課『奥深き手洗いの世界』～効果的な手洗いを求めて～	31名	各部署研究発表チーム
8月6日	三次ブロック研究発表会 美和会予選会(2) デイサービス『高齢者と水分』 養護『その人らしい日常生活を送るために』 特養『生産性向上に向けて～自信・やりがい求めて～』	34名	各部署研究発表チーム
9月17日	身体拘束適正化・虐待防止研修	26名	事故防止委員会
10月15日	介護基礎技術向上研修 『 テーマ: 移乗・移動 』	38名	一般社団法人 広島県介護福祉士会講師
11月19日	『BPC・感染症予防について』(伝達研修)	29名	介護部長・看護課長
12月17日	救急救命講習会 AED 実技講習	19名	備北消防組合 三和出張所職員
合 計	実施回数 9回	255名	平均参加率 41%



(6月 非常食活用・試食研修)



(8月 職員研究発表予選会)



(10月 介護技術基礎研修会)

7 施設整備及び主要な修繕実施状況

(1) 養護老人ホーム拠点会計

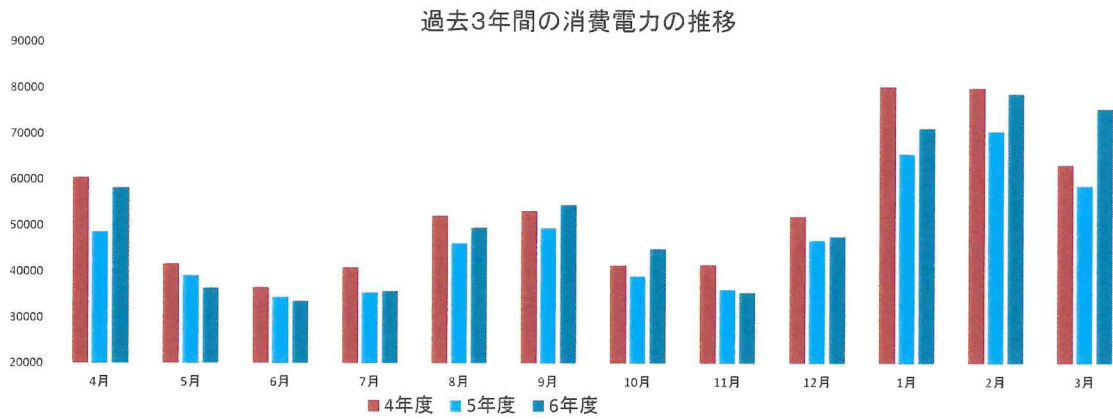
工事内容	総事業費	実施事業者	備考
温泉システム浴槽循環ポンプ取替修理	233,530 円	株式会社オオサキ	
消防設備等不良箇所修繕	127,490 円	有限会社谷川石油店	
養護棟居室自動給水栓等取替工事	70,400 円	有限会社ユノカワ	
厨房スポットエアコン修理	120,000 円	八洲電機株中国支社	
屋外排水管修繕工事	660,000 円	有限会社ユノカワ	
温風暖房設備撤去工事	165,000 円	有限会社ユノカワ	
給湯ボイラー室ポンプ修繕	286,198 円	ネポン株式会社	
合計	1,662,618 円		

(2) 特別養護老人ホーム拠点会計

工事内容	総事業費	実施事業者	備考
デイサービスガス給湯器修理	107,250 円	パーパス	
デイサービス浴室天井漏水修繕工事	126,500 円	有限会社ユノカワ	
RO膜フィルター交換(水道ろ過)	468,000 円	株式会社エス・エス・ティー	
水道ポンプ庫ケミカルタンク取替工事	206,800 円	有限会社ユノカワ	
デイサービスガス給湯器水漏れ修理	159,500 円	有限会社ユノカワ	
園内防犯カメラシステム修繕	600,000 円	広島総合警備保障株	落雷による故障
特養エコ給湯機修繕	171,000 円	株式会社日本イトミック	寒波凍結による破損
合計	1,839,050 円		

8 電力エネルギー使用状況

施設区分	令和6年度	
	使用量	使用料
施設	621,697 kWh (前年度比 8.9%増)	16,036,878 円 (前年度比 1,336,775 円 9.1%増)
水道ほか (水中ポンプ)	13,636 m ³ (37.4 m ³ /日 4.6%増)	1,229,235 円 (前年度比 362,620 円 40.9%増)



9 避難訓練実施状況

実施年月日	実施内容	実施体制
7月10日	総合訓練 (昼間火災想定 初期消火, 通報, 避難誘導)	職員, 入所者, デイ通所者
3月5日	総合訓練 (夜間火災想定 初期消火, 通報, 避難誘導)	職員, 入所者

10 職員全体数（令和7年4月1日現在）

（単位 人）

職 種	正 職	契約（日額）	パート	登録	合 計
施設長	1				1
部長職・事務職	5				5
ケアマネ・介護員・看護員	38 (0)	4 (1)	13 (3)		55 (4)
栄養士・調理員	5 (0)	1 (△1)	3 (△3)		9 (△4)
ヘルパー	1			7 (△2)	8 (△2)
清掃・営繕		2 (0)	1 (△1)		3 (△1)
配送・運転			2 (△1)		2 (△1)
合 計	50 (0)	7 (0)	19 (△2)	7 (△2)	83 (△4)

※（ ）は、令和6年4月1日からの人数変動

事業別実施報告編

I 措置（受託）事業

1 養護老人ホーム喜楽園・ケアホーム喜楽園（定員 50 名）

今年度は、施設内外行事や地域交流などをコロナ禍前の水準に戻しつつも見直しや取り組み、個別支援計画に基づく入所者中心のサービスに心掛け、自立した生活の支援により満床を目指す中、入所待機者の減少とともに入所者の死亡や特養への入所替え等により、定員割が続きましたが、年間入所率は97%と目標数値を若干2%下回りました。

(1) 人員の状況

(単位：人)

R5 年度末 入所者数	R6 年度中の異動								R6 年度 入所率
	退所	男	女	計	入所	男	女	計	
49 人	死亡	1	2	3	三次市から	1	4	5	97% (月初日)
	病院への長期入院	1	2	3	庄原市から		3	3	
	在宅復帰				広島市から	1	1	2	
	その他（他施設へ）			4					3 月末 49 人
	合計	2	8	10	合計	2	8	10	

(2) 平均年齢（令和7年3月31日現在）

(単位：人・歳)

性別	人員	平均年齢	備考
男	12 人	83 歳	69 歳 ～ 97 歳
女	37 人	88 歳	66 歳 ～ 103 歳
合計	49 人	86 歳	

(3) 要介護度等認定済みの人員（令和7年3月31日現在）

(単位：人・%)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
人員	3 (4)	4 (1)	10 (16)	11 (8)	6 (6)	4 (4)	0 (1)	38 (40)	1.59 (1.82)
入所者に占める割合	8% (10%)	11% (2.5%)	26% (40%)	29% (20%)	16% (15%)	10% (10%)	0% (2.5%)	100% (100%)	

※カッコ内はR5年度末日

※平均要介護は要介護者の平均

(4) 措置機関別入所者内訳（令和7年3月31日現在）

(単位：人)

実施機関	男	女	合計
三次市	10 (4)	31 (16)	41 (20)
東広島市	—	1	1
庄原市	—	4	4
三原市	1	—	1
広島市	1	1	2
合計	12 (4)	37 (16)	49 (20)

※カッコ内は、三和町内からの入所者数

(5) ケアホーム（外部サービス利用）利用状況

(単位： 人)

サービスの種類	年間実利用人数	年間利用延べ人数
デイサービス	248 (182)	2,379 (1,595)
訪問介護	357 (262)	1,548 (1,430)

※カッコ内はR5年度実績

(6) 行事実施状況

4月	お楽しみデザート 誕生会 講和 訪問理容 花見ドライブ 三次市議会議員不在者投票 訪問：大力谷演芸グループ様
5月	お楽しみデザート 誕生会 訪問理容 観音菩薩祭り 花田植え見学 訪問：夢先案内人様) 訪問：シンガーソングライター野口京子様コンサート)
6月	お楽しみデザート 誕生会 講話 訪問理容 訪問：人権啓発紙芝居・入所者悩みごと相談会
7月	お楽しみデザート 誕生会 講話 訪問理容 縁日 避難訓練
8月	お楽しみデザート 誕生会 訪問理容 合同盆踊り 物故者追悼法要
9月	お楽しみデザート 誕生会 講話 敬老祝賀式・祝賀会 訪問理容 訪問：三次芸能クラブ様
10月	お楽しみデザート 誕生会 講話 訪問理容 インフルエンザ予防接種 入所者胸部X-P 家族会総会 訪問：春木神楽団様 みわ文化センター絵画鑑賞
11月	お楽しみデザート 講話 訪問理容 移動ブティック 西ノ神例大祭 下板木コミュニティセンター祭り 新型コロナワクチン接種7回目
12月	お楽しみデザート 誕生会 (11月・12月合同) 訪問理容 クリスマス会 訪問：紙芝居
1月	お楽しみデザート 誕生会 講話 訪問理容
2月	お楽しみデザート 誕生会 講話 訪問理容 訪問：三和中学校3年生 施設交流会 訪問：三和小学校5年生 施設交流会 節分(豆まき)
3月	お楽しみデザート 誕生会 彼岸法要 訪問理容 避難訓練



(悩みごと相談会)



(三和中学生との交流会)



(節分行事)

(7) 活動報告（令和6年度運営目標に対する総括）

- ・ 他市町からの措置依頼もあり、ご家族や関係機関と連絡調整を行い入所に努めましたが、待機者が頭打ちした事、介護度が重くなり、特養への入所、長期入院等で、年間入所率（月初日）目標 99%を下回る 97%でした。
- ・ 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染を予防し、「施設内には絶対にいけない」と強い思いで取り組みましたが、入所者、職員に感染者を出してしまいました。安全かつ安心した生活を過ごせるように食席のパーテーションの継続、換気、マスク着用、手指消毒の徹底や情報収集の継続に努めています。
- ・ 感染予防を努めるとともに、外出、外泊の再開、縁日、リハビリ体操、花見ドライブ、移動ブティック、地域行事、施設交流を実施し、ストレスの軽減や楽しんでいただくことができました。
- ・ 外部サービスの利用者も増え介護収入にも貢献することができました。

■ 内部研修会への参加状況

(単位 人)

月 日	研修内容	参加人数
4月16日	・ 不適切ケアを振り返ろう～虐待・事故ゼロをめざして～ ・ アンガーマネジメントを学ぶ	3人
5月21日	・ 食中毒予防について	4人
6月18日	・ 業務継続計画（BCP）って何だろう？ ・ 非常食の活用法・試食会	4人
7月23日	・ 三次ブロック研究発表会予選会① 喜楽園居宅介護支援事業所 『続・在宅で生活するために』 栄養課 『奥深き手洗いの世界』 ヘルパーステーションスマイル 『ヘルパーステーションスマイルのクッキング』	6人
8月6日	・ 三次ブロック研究発表会予選会② 養護 『その人らしい日常生活を送る為に』 特養 『生産性向上にむけて』 デイサービス 『高齢者と水分』	7人
9月17日	・ 身体拘束適正化・虐待防止研修	4
10月15日	・ 介護基礎技術向上研修～移動～	7
11月19日	・ BCP・感染症予防について	6
12月17日	・ 救急教室～AEDを使用した救命～	4

■ 外部研修会への参加状況

(単位 人)

月 日	研修内容	参加人数
8月7日	広島県の外国人介護人材の受け入れと今後の展望	2人
11月8日	令和6年度養護老人ホーム部会職員意見交換会	2人
9月20日～12月4日	介護支援専門員更新研修(全12回受講)	2人

2 生活管理指導短期宿泊事業(生活指導型ショートステイ)

三次市から委託を受け、社会適応が困難な介護保険の対象とならない高齢者に対して、空きベッドを活用し短期間の宿泊により日常生活に対する指導、支援を行うサービスですが、令和6年度は利用実績がありませんでした。

■ 年間利用実績

(単位：人)

利用実人数	利用延べ日数	備考
0人 (0人)	0日 (0日)	

※カッコ内は令和5年度

3 配食サービス事業

三次市からの委託を受け、食事の調理が困難な在宅者等を対象に自立した生活が送れるよう一人ひとりの健康状況等に応じた栄養管理のもと、安全・衛生的な配食サービスに心がけひとり暮らし高齢者等への生活支援と併せ安否確認を行いました。

令和6年度年間実績は、年間実利用者数28人(前年度30人)、1人当たりのサービス回数は148.7回(1月あたり12.3回)となりました。

三和町では、65歳以上の高齢者が50%(広島県 約30%、三次市 約37%)を占めている状況です。今後も高齢化が進む中で、地元になくってはならないサービスのため可能な限り支援継続を目指していきます。

月別利用実績(毎週/月曜日～金曜日：夕食のみ実施)

(単位：人・回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用人数	22	22	23	25	23	22	20	18	18	18	18	18	247 (268)	20.5 (22.3)
利用食数	397	420	355	446	414	375	382	333	357	326	317	339	4461 (4768)	371 (397)

※カッコ内は令和5年度

Ⅱ 介護保険事業

1 特別養護老人ホーム喜楽園（定員：60名）

入所者様の尊厳を重視した介護サービスの実現のため、利用者本位のサービスの理念に沿い、利用者様への尊敬の念と専門職としてのプロ意識を持って支援しました。

令和6年度は、死亡者は少なかったですが、療養型病院へ移られる事による退所が、令和5年度の2名から12名と6倍の人数となりました。11月に1名の死亡と2名の退所があり、12月には2名の死亡、3名の退所が続きました。短期間に8名の入所調整を行うこととなり、すでに死亡や他施設入所されていたり、入院継続が必要なケースが多く、実質的な待機者の減少も重なり、入所手続きには一定の時間を要することからこの期間においては稼働率が下がっています。

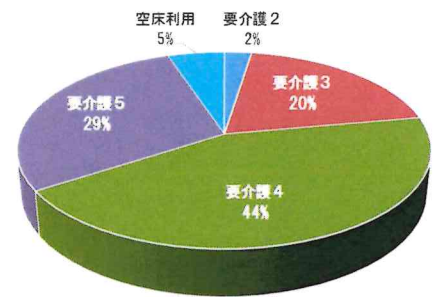
平均介護度は前年度と変わり無く、認知症自立度Ⅲ以上が80%と重度化しています。平均年齢は89.7歳となっています。

(1) サービス利用実績

年間入所者の要介護度別推移

利用月	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	空床利用	合計	日平均	実人数	稼働率
4月	30	387	785	456	64	1,722	57.4	58	95.7%
5月	31	396	842	496	65	1,830	59.0	58	98.4%
6月	30	330	761	546	78	1,745	58.2	57	96.9%
7月	31	313	750	574	77	1,745	56.3	57	93.8%
8月	31	341	724	558	127	1,781	57.5	56	95.8%
9月	30	320	739	547	116	1,752	58.4	56	97.3%
10月	31	369	769	559	108	1,836	59.2	57	98.7%
11月	30	330	756	486	100	1,702	56.7	56	94.6%
12月	31	303	738	494	113	1,679	54.2	57	90.3%
1月	62	314	776	471	40	1,663	53.6	57	89.4%
2月	84	324	708	412	88	1,616	57.7	57	92.9%
3月	93	380	744	438	119	1,774	57.2	56	95.4%
合計	514	4,107	9,092	6,037	1,095	20,845	57.1	—	95.2%

要介護度別の入所者割合



特別養護老人ホーム入所者の推移
(空床利用含む)



(2) 入退所の状況

(単位：人)

R5年度末 入所者数	R6年度中の異動								R6年度末 入所者数
	退所	男	女	計	入所	男	女	計	
58人	死亡うち ()内は看取り	(1) 3	(0) 3	(1) 6	在宅から	0	8	8	56人
	病院への長期入院	4	8	12	老健から	0	2	2	
	在宅復帰	0	0	0	病院から	0	2	2	
	その他	0	1	1	その他(養護等)	0	5	5	
	合計	7	12	19	合計	0	17	17	

(3) 平均年齢(令和7年3月31日現在)

(単位：人)

年齢(以上～未満)	男	女	計	備考
70歳～79歳	0	2	2	最高年齢者 (男性) 93歳 (女性) 101歳
80歳～89歳	4	17	21	
90歳～99歳	2	28	30	
100歳以上	0	3	3	
合計	6	50	56	
平均	88.8歳	90.5歳	89.7歳	

(4) 要介護度別人員(令和7年3月31日現在)

(単位：人・%)

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
人員	0	3	13	25	15	56	3.9 (3.9)
入所者に占める割合	0	5.3	23.2	44.8	26.7	100%	

※カッコ内は5年度末日

(5) 認知症高齢者の日常生活自立度別人員(令和7年3月31日現在)

(単位：人・%)

ランク	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	計
人員	1	1	0	8	29	7	10	0	56
入所者に占める割合	1.8	1.8	0	14.2	51.8	12.5	17.9	0	100%

(6) 障害高齢者の日常生活自立度別人員(令和7年3月31日現在)

(単位：人・%)

ランク	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
人員	0	0	1	3	11	8	13	3	17	56
入所者に占める割合	0	0	1.8	5.3	19.6	14.3	23.2	5.4	30.4	100%

(7) 出身別入所者内訳 (令和7年3月31日現在)

(単位:人)

実施機関	男	女	合計
三和町	6	36	42
三次市(三和町除く)	0	8	8
世羅町	0	4	4
安芸高田市	0	1	1
広島市	0	1	1
合計	6	50	56

(8) 活動報告 (令和6年度運営目標に対する総括)

■ 相談援助業務の取組みと評価

- ・退所後の速やかな入所に取り組みましたが、年後半に退所者が続いた事と待機者の減少により入所までの時間を要しました。又、空床ベッドの調整を居宅介護支援事業所と連携を図りましたが、稼働率維持には至りませんでした。
- ・入所者の方の楽しみの提供として、R6年4月には花見ドライブを実施し、7月には納涼祭行事として「縁日」を開催することで、利用者様にも大変楽しんでいただくことができました。
- ・9月敬老祝賀式では、ご家族の同席のもと100歳以上3名、白寿5名の方が長寿の表彰を受けられました。また、体調を考慮し式典に列席できない方には、事前に会場にて記念写真を撮りました。
- ・10月家族会は5年ぶりに開催でき入所者、家族の方と交流の場を提供することができました。

■ 介護業務の取組みと評価

(感染委員会)

- ・12月発生したインフルエンザ感染時には、看護と連携を図り早期の感染対策が徹底できたことで、2次感染を最小限に防ぐことができました。
- ・外部研修会にも参加し、感染症の正しい知識と技術を学ぶとともに感染対応マニュアルの見直しを行うことができました。
- ・定期的に感染予防検物品の点検及び補充を行うとともに感染情報を把握し、早期対応ができるように努めています。

(拘縮・褥瘡防止委員会)

- ・理学療法士 (PT) ・介護士 ・看護師が連携し、定期的にベッド臥床時や車椅子移乗時のポジショニングの見直しを行い、安定した姿勢の保持を検討するとともに、統一したポジショニング対応ができるよう、情報共有に努めました。また、介護職員には PT が個別指導も行うことで、一人ひとりのスキルアップに繋がっています。
- ・日々の全身観察にて褥瘡発生時には、適切なマットレスの選定を検討し、悪化予防に努めました。
- ・今後も「褥瘡入所者ゼロ」を目標に取り組んでいきます。

(事故防止・身体拘束・接遇委員会)

- ・転倒件数が昨年度1月時点で(44件)に対して今年度1月末時点で(20件)に減少しました。その要因の一つとして、昨年からのヒヤリハット記録が増加しました。このことから事故につながる前の予防対応ができました。又見守りカメラを活用することで事故後の検証、対策、評価により利用者一人ひとりのADL、事故状況がより明確化され根拠のある対策として現場に還元できたことで転倒事故の減少に繋がりました。
- ・表皮剥離が(16件)から(37件)に増加しています。増加した要因として、皮膚が弱いことに対する対策が不十分であったと考えられます。転落に関しては昨年とほぼ同様の件数でした。
- ・誤薬に関しても(5件)から(7件)に増加しました。対策とし周知徹底の強化に努め、全職員に意識付けを行いました。
- ・今後は見守りカメラの台数を増設し、事故後の早期対応、同様ケースの事故減少に努めて行きます。また、全体ミーティングを活用することで多職種と連携を図り統一した事故防止策を強化して行きます。

(食事委員会)

- ・「食事」の検討に関しては、PT(理学療法士)、ST(言語聴覚士)、看護と多職種連携を図り、色々な工夫を実践することができました。食事摂取時の姿勢、食事摂取量の把握、座椅子の変更や適した車いすの検討。利用者の方一人ひとりが不安なく安心して食事していただけるよう体調等の変化に対応し、その都度見直しを行っています。
- ・できるだけ自力摂取を継続していただくため、食事形態の食べやすさを追求し、自助具の検討を行いました。また、介助員との連携も不可欠であり、伝達方法を改善し周知徹底を図りました。
- ・今後も「安全な食事摂取」を意識し、入所者の方の変化により早く気づき、対応を行えるように観察力を養うとともに多職種と連携、会議、ミーティングを設けることで迅速なサービス提供に取り組んで行きます。

(排泄委員会)

- ・トイレ誘導者の排泄パターンを見直し、トイレ誘導ボードをその都度更新することで、柔軟な排泄対応ができるよう努めました。
- ・夜間等一人で安全にトイレ使用できるように、タッチアップを設置し、環境整備に努めました。
- ・在庫状況を把握できるよう注文記録表の見直しを行いました。
- ・今後、外部研修等を通して、利用者一人ひとりにあった排泄ケアに取り組んで行きます。

(入浴委員会)

- ・日々のミーティングを活用し多職種と連携を図ることで、入所者の状態に合わせた入浴順番の変更や個浴から機械浴への変更等がすみやかに実施できました。寒冷期には給湯機の凍結により、入浴できない日があったことから更なる凍結防止対策の検討が必要です。
- ・R6年度は、入浴中事故としての表皮剥離の発生報告が多く上がりました。原因として利用者の方の水分補給不足や加齢に伴う皮膚乾燥、安全な移乗介助方法が十分ではなかったと考えられます。今後は定期的な委員会の中で、事故防止委員会と連携し、より安全で安心な入浴サービス提供を目指します。

■ 看護業務の取組みと評価

- ・コロナの発症はなかったが、6名の入所者にインフルエンザが発症しました。早急にマニュアルに沿った感染対策を行い、感染拡大なく、約2週間で終息することができました。その後も利用者様のマスク着用を徹底することで感染予防に努めました。
- ・高齢症状により嚥下機能が低下し、年間延べ38名が入院となりました。その内、転院者が6名、死亡者が3名となりました。こうした中、多職種とご家族様とが連携し、今後の利用者様の方向性を一緒に考察できたことで、ご家族様にも納得していただける対応ができました。
- ・誤薬予防に関しては、新たに薬局と連携し、朝・昼・夕の薬に色違いのラインを引くことで、朝・昼・夕の区分を明確にすることで誤薬防止に努めました。

■ リハビリ業務の取組みと評価

- ・リハビリの介入によりADL低下を防ぎ、残存能力を生かせるよう環境整備に努めました。利用者様の意思を尊重し、利用者様が生活しやすい環境作りを今後も検討して行きます。
- ・寝たきりの方の拘縮予防を図るため、上下肢屈伸運動やリラクゼーション施行に努め、介護員に対しては移乗や・ポジショニング方法について適宜伝達と共有に努めました。
- ・ST（言語聴覚士）が入職し、より専門的な視点での嚥下・食事評価が可能となり、PT（理学療法士）不在時には代行して歩行訓練を行うことで、継続的なリハビリ提供も可能になりました。
- ・利用者様全体としては、現状の身体状況を維持できている方もいる一方、拘縮や認知機能の低下が進み、ADLの低下・介助量が増加される方もいます。多職種や各委員会と連携を図り、低下予防に取り組めます。

■ 行事実施報告

4月	花見ドライブ
5月	日光浴
6月	外気浴
7月	新型コロナワクチン接種6回目 火災避難訓練（昼間想定）一日縁日行事
8月	盆踊り
9月	敬老祝賀式
10月	入所者胸部レントゲン健診、ハロウィン、インフルエンザ予防接種、家族会
11月	外気浴
12月	クリスマス会、新型コロナワクチン接種7回目
1月	正月飾りつけ
2月	節分
3月	ひな祭り 火災避難訓練（夜間想定）



■ 職員会議・委員会の開催状況

月 日	会議名	内 容	参加人数
① 4月16日 ② 5月21日 ③ 6月18日 ④ 7月23日 ⑤ 8月6日 ⑥ 9月17日 ⑦ 10月15日 ⑧ 11月19日 ⑨ 12月17日	職員研修会	① 事故防止・虐待防止・身体拘束適正化への取り組み・意見交換 (6名) ② 感染症及び食中毒予防について (7名) ③ 業務継続計画の策定・非常食の活用等 (5名) ④ 三次ブロック研修発表会 第1回美和会予選 (5名) ⑤ 三次ブロック研修発表会 第2回美和会予選 (8名) ⑥ 身体拘束適正化・虐待防止研修 (8名) ⑦ 介護技術研修会 (移乗・移動編) (11名) ⑧ 感染症及び食中毒・業務継続計画について (7名) ⑨ AED 講習 (4名)	61名
随時 (12回/年)	食事委員会	個別嚥下機能状態、食事形態・環境の検討	6名 / 回
随時 (12回/年)	排泄委員会	感染症対策のおむつ交換の検討、適切なパットの検討、トイレ誘導時定時陰部洗浄	3名/ 回
随時 (12回/年)	入浴委員会	入浴介助全般の検討	4名/ 回
随時 (12回/年)	拘縮・褥瘡委員会	拘縮・褥瘡マネジメント	4名/ 回
随時 (12回/年)	感染委員会	感染症対策について	4名/ 回
随時 (12回/年)	介護事故・身体拘束・接遇委員会	介護事故に係る再発防止検討会、身体拘束の適正化に伴う検討会	4名/ 回
2回/年	入所検討委員会	入所待機者の順位決定	延べ11名
随時9回/年	情報共有会議	特養申込者の情報共有	延べ64名

■ 内部研修会への参加状況

月 日	研修内容	参加人数
5月1日～31日	感染症予防研修 手指消毒実技演習	20名
6月1日～31日	看取り研修 (各自ネット配信研修)	20名
5月 12月	口腔衛生歯科講習	22名

■ 外部研修会への参加状況

月 日	研修内容	参加人数
7月13日	ICT・介護ロボット導入支援研修	2名
7月15日	部下とのコミュニケーション術向上セミナー～ハラスメントと言われないために～	1名

7月24日	介護施設における安全対策担当者養成研修	2名
8月1日	認知症チームケア推進研修	1名
8月7日	外国人介護人材研修	1名
9月15日	認知症チームケア推進研修	2名
9月27日	令和6年度第1回介護サービス事業者集団指導研修	4名
10月4日	令和6年度第1回感染対策研修	1名
11月6日	外国人技能実習制度要請講習	1名
11月12日	令和6年度広島県老人福祉施設連盟三次ブロック老人福祉施設職員研究発表会	1名
12月23日	介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
令和7年2月13日	令和6年度虐待防止研修会	1名
2月26日	令和6年度備北圏域新型インフルエンザ等実地研修会	1名
3月21日	令和6年度第2回介護サービス事業者集団指導研修	1名

2 デイサービスセンター スマイル (定員 25名)

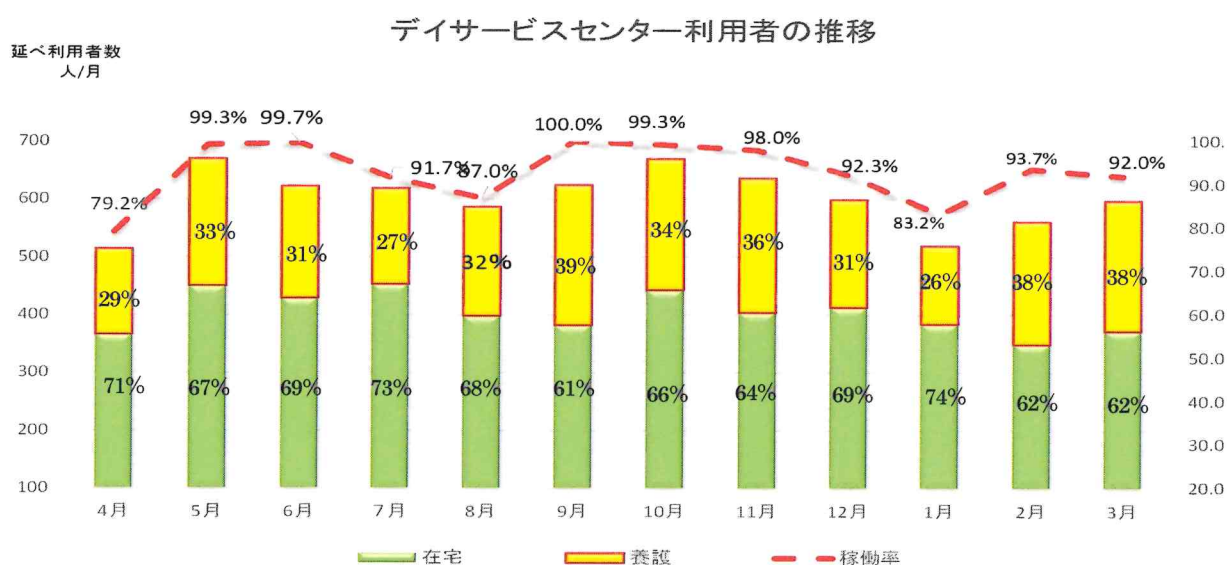
利用者様一人ひとりの個性や人間性を尊重し、意欲や笑顔を引き出すことができる心身機能の維持・改善プログラムの強化に努めてまいりました。また、利用者様の住み慣れた環境で自立した生活を継続できる様、さらには介護者様の介護負担軽減を図るため、追加利用を含めた入浴、食事、レクリエーション等のサービスの提供に努めました。

(1) 月別の利用実績

(単位：人)

利用月	1号通所介護	通所介護	計 利用者数	稼働日数	稼働率 (%)	利用者 実人数
	要支援1~要支援2	要介護1~要介護5				
4月	33	482	515	26	79.2	59(15)
5月	56	614	670	27	99.3	59(15)
6月	47	576	623	25	99.7	60(17)
7月	44	575	619	27	91.7	62(17)
8月	39	548	587	27	87.0	63(17)
9月	35	590	625	25	100.0	62(19)
10月	39	601	670	7	99.3	63(19)
11月	39	598	637	26	98.0	63(19)
12月	39	561	600	26	92.3	61(19)
1月	43	477	520	25	83.2	60(19)
2月	33	529	562	24	93.7	59(19)
3月	38	560	598	26	92.0	57(19)
合計	485	6711	7226	310	—	728
平均	40.4	559.3	602.2	25.8	93.2	60.7

()内数値は養護利用者数



デイサービス (定員 25名) の年間延利用者数は、7,226人 (昨年 6,810人) ↑、運営日数 310日 (昨年 312日) ↓、1日当たり平均 23.3人 (昨年 21.8人) ↑と前年度の利用実績を上回りました。利用者 (養護を含む) や家族、また関係者にコロナウイルス・インフルエンザ感染発症し (4月・1月・3月) 縮小営業

を実施した中、居宅事業所・養護施設と連携し稼働率確保に努めました。在宅利用者の比率において平均70%以上が好ましいのですが、人数確保に加え入院・ショートステイ・入所等により利用回数の確保に至りませんでした。その分、特定入所者（養護）の利用調整を行い稼働率の確保に繋げている状況でした。今後の在宅利用者数確保に課題が残りました。

(2) 曜日別登録者数・利用者数（令和7年3月分/日平均） (単位：人)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
登録者数	23名	23名	23名	23名	24名	25名
利用者数	23名	22.6名	22名	23.3名	23.5名	23.4名

(3) 活動報告（令和6年度 運営目標に対する総括）

- ・曜日別で登録人数を管理しておりますが、ショートステイ利用、入退院による不定期な利用変更、特別養護入所等により利用定員に届かない曜日が増えているため、利用回数増による自己負担額の増額にも配慮しながら、積極的な追加利用の受け入れや利用曜日等の調整に取り組みました。また、インフルエンザや新型コロナ等の感染発症により止む無く利用制限を実施せざるを得ない時期もありましたが、最終的には前年度（R5年度）を上回る稼働率を確保することができました。
- ・ご利用者様と個別に関わり、ご利用者様にマッチした活動の提供（手芸、脳トレプリント、将棋、散歩など）に努めました。一方、脳トレパズル・折り紙等が利用者内でのブームとなり、手芸材料や色紙など自費で用意され、自宅においても取り組まれる等主体的な利用者の方もありました。
- ・各関係機関との積極的な連携を図り、柔軟な新規利用の受入れ調整や不安解消に向けて、体験利用の提案等利用者・家族に寄り添った支援に努めました。
- ・三次ブロック職員研究発表会への出場を目指し、デイサービス事業所として利用者の困難事例をテーマに3年ぶりに喜楽園内予選会において発表を行いました。
- ・新型コロナウイルスやインフルエンザ対応には、常日頃から感染予防や健康チェックを徹底し、感染疑いのあるご利用者様には利用自粛をお願いするなどの対応により、事業所閉鎖することなく感染拡大を最小限に抑えることができました。

■ 職員研修の開催

実施月	研修内容	参加人数
6月10日	入浴のアセスメント	7名
8月8日	デイサービスセンター部会	2名
1月3日	事故発生時の対応	6名

■ 外部・施設研修会への参加状況

実施月日	研修内容	場所	参加人数
毎月	三和町連絡調整会議への出席	みわ総合福祉センター	1名
4月16日	事故防止	集会室	7名
5月21日	感染症及び食中毒	集会室	5名
6月18日	業務継続計画（BCP）の策定	集会室	3名
7月23日	三次ブロック研究発表会予選会①	集会室	5名
8月6日	三次ブロック研究発表会予選会②	集会室	7名
9月17日	身体拘束適正化・虐待防止研修	集会室	5名
10月15日	介護技術研修会（移乗・移動編）	集会室	5名
11月19日	感染症及び食中毒／業務継続計画（BCP）の策定	集会室	4名
12月17日	ADL講習	集会室	3名

■ リスク管理の取り組み

- ・事故発生時には、職員間で報告、連絡、相談を速やかに行い、迅速な対応に努めました。
- また、事故発生の原因を突き止め、再発防止策を職員全員で共有しました。

(4) 各種行事開催状況

4月	誕生祝（個別） 花見ドライブ
5月	誕生祝（個別）
6月	誕生祝（個別）
7月	誕生祝（個別） 縁日（合同行事） ショッピング（パルパ）
8月	誕生祝（個別） 盆踊り（合同行事）
9月	誕生祝（個別）
10月	誕生祝（個別）
11月	誕生祝（個別）

12月	誕生祝（個別）
1月	誕生祝（個別） 書初め 正月遊び
2月	誕生祝（個別） 豆まき
3月	誕生祝（個別）



（創作活動 壁画作品）



（七夕飾り作品）



（クリスマス 装飾）



（クリスマス プレゼント交換）



（書初め大会）



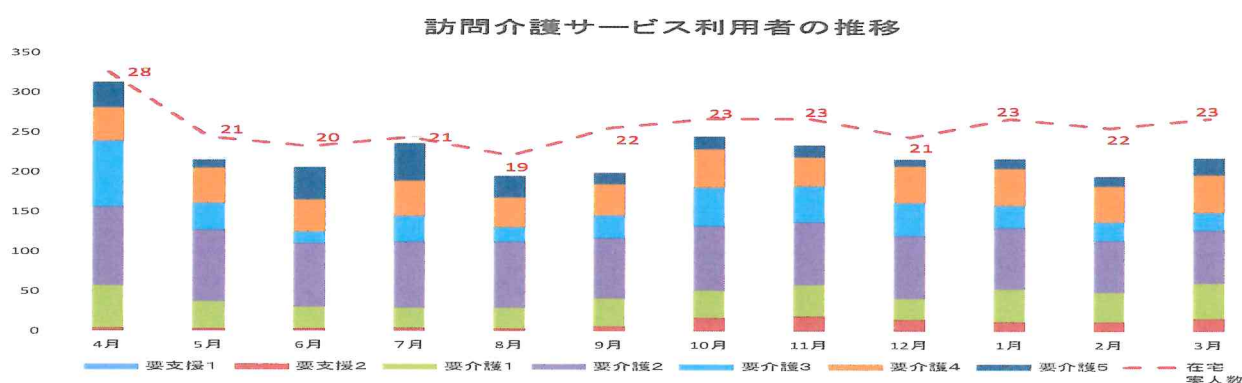
（節分行事）

3 ヘルパーステーション スマイル

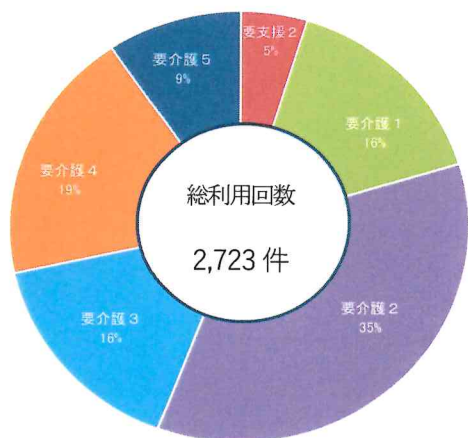
令和6年4月、三和町人口は2,406人、65歳以上は、1,279人、令和7年3月は、2,365人（△41人）、65歳以上 1,248人（△31人）です。令和5年度の訪問介護実利用人数は、27.2人/月平均から令和6年度の高齢者の人口減少に比例し、5.1人減少し22.1人/月平均となりました。一方、5月には常勤ヘルパー1名入職しましたが7月に退職、登録ヘルパーも2名が退職したことで、ご利用者のニーズに対応できる体制に支障が生じ、その結果、稼働率も大幅に低下し、年間総利用件数では、昨年実績3,941件から30.9%減の2,723件に大幅に減少しました。

在宅3本柱であるヘルパー、デイサービス、ショートステイは、要介護状態になって在宅生活を維持するには欠かせない介護サービスです。三和町内や町外近隣の方には、継続してサービス提供を望まれています。ヘルパーも少数で高齢ではありますが、引き続き事業所の維持・継続に努めてまいります。

(1) 介護度別訪問介護の利用者状況



介護度別訪問介護の利用者



令和6年度の概要

- 実利用人数
年平均 22.1人 (昨年 27.2人) ↓
総利用件数
2,723件 (昨年度 3,941件) ↓
- 利用者介護度
要支援1～要介護2 55.7% (昨年度 47.3%)
要介護3～要介護5 44.3% (昨年度 52.7%)
- 利用平均回数 (1人当り)
1月当り 10.2回/人
- 介護度別利用頻度 (1月利用者1人当り)
要支援① 0回 要支援② 4.8回 要介護① 7.4回
要介護② 12.4回 要介護③ 8.2回 要介護④ 15.1回
要介護⑤ 12.8回

(2) サービス内容別利用人数及び利用回数 (令和7年3月分)

(単位: 回)

	身体介護	生活援助	身体・生活	予防給付	合計
訪問回数	28	69	105	9	211
利用割合	13.3%	32.7%	49.8%	4.3%	100%

(3) 活動報告（令和6年度運営目標に対する総括）

- ・常に利用者の心身の状態把握に努め、体調変化時には訪問ヘルパー・サービス提供責任者・ケアマネ・家族等関係者との連携を密にし、情報の共有化を図ることで迅速な対応に努めました。
- ・新規利用者の受入れに対応するため、限られたヘルパー人数の中で、常に訪問シフトの調整を行いながらサービス提供に努めました。
- ・感染予防対策の徹底を継続し、利用者の方への感染拡大防止に努めました。

■ ヘルパー研修の開催状況

実施月	研修内容	参加人数
5月23日	訪問の心得、自己評価について、感染症対策、苦情と緊急対応	11名

■ 職員研修会への参加状況

月日	研修内容	主催（講師）	参加人数
6月18日	業務継続計画・非常食の活用・試食会	森田施設長・管理栄養士	1名（10名）
7月23日	三次ブロック研究発表会美和会予選会	美和会研修委員会	1名（10名）
8月6日	三次ブロック研究発表会美和会予選会	美和会研修委員会	1名（11名）
9月17日	身体拘束適正化・虐待防止研修	美和会事故防止委員会	0名（9名）
10月17日	介護基礎技術向上研修・移乗	美和会感染委員会	3名（6名）
12月17日	救急教室～AEDを使用した救急～	備北消防 三和支所	0名（8名）

（ ）内は、資料配布

4 喜楽園居宅介護支援事業所

利用者の方が在宅でその人らしく自立に向けた生活をしていただけるよう、利用者の心身の状況、置かれている環境や利用者及びその家族の希望等を考えて居宅サービスを計画し、かつ居宅サービスの提供が確保されるよう居宅サービス事業者等との連絡調整を図るとともに、その他便宜の提供に努めてまいりました。

一方、ここ数年は、施設入所や長期入院者の増加に併せ、新規認定者の中には、医療系の居宅介護支援事業所や小規模多機能施設を利用される方が増加傾向にあり、本事業所では新規利用契約者数の減少が続いておりましたが、令和6年度の延べ利用数では前年度（1,037人）と同水準を維持することができました。

今後も関係機関に新規利用者の紹介依頼を行うとともに、高齢者の認定申請代行から積極的に関わっていく姿勢で、新規利用者数アップを目指し、安定した居宅支援事業所の運営に努めてまいります。

(1) 居宅介護支援事業実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン作成件数	89	86	86	88	86	86	85	88	85	87	86	87	1039 (86.5)
訪問調査	7	2	6	3	1	2	6	3	4	2	3	7	46 (3.8)

※カッコ内は月平均

(2) サービス別の提供計画回数（令和7年3月分実績）

(単位：件・回)

	件数	居宅利用	区分	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問ヘルパー	訪問リハビリ	通所介護	通所ヘルパー	貸付福祉用具	生活介護	短期入所	老健	短期療養	病期療養	
介護給付	87		自施設	18	0	0	0	32	0	0	10	0	0				
			他施設	0	1	7	15	24	6	67	3	0	0				
予防給付	5		自施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
			他施設	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0			

三和地区内には、美和会以外では在宅サービスを提供できる事業所が少なく、特にホームヘルプサービス（訪問介護）への町外事業者からの利用調整が年々難しくなっています。美和会（ヘルパーステーションスマイル）においてもヘルパー人材不足が深刻化しており、今後の訪問介護ニーズへのサービス利用が課題となっています。

(3) 活動報告（令和6年度運営目標に対する総括）

基本理念をもとに、ご利用様が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるように支援をしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症等の流行から、ご利用様の生活習慣やご家族の支援に変化があったように思えます。

また、他介護サービス事業所の閉鎖もあり、町内での利用できる介護サービスが不足しています。ご利用者様のご希望に添える必要な介護サービスの提供が困難な状況があります。

また、少ない年金での生活苦や借金問題など、経済的な問題を抱えている方も増加傾向にあります。

重点目標について

- ① 地域の方や、三和支所保健師、各病院からの相談には迅速丁寧に対応しています。ただし、介護保険サービスの利用につながらないケースもあります。
- ② 在宅介護の困難ケースについて、医療機関や地域包括支援センター、民生委員、サービス事業所等との連携を密にして支援を行っています。また、地域行事への初参加ができました。今後も継続して行いたいと思います。
- ③ 研修への参加、他事業所介護支援事業所等との情報共有を積極的に取り組みました。また、部署内での伝達講習を行い情報の共有に努めています。
- ④ 癌末ケア、ターミナルケア、重度の認知症、生活困窮者などの困難ケースや新型コロナウイルス感染症関連のケースが増加傾向にあります。一つひとつの問題に、チームで協力して丁寧に対応しています。
- ⑤ ご利用者様のアセスメントを行い、適切なサービスの提供ができるように心がけています。かつ、可能な限り当法人のサービス利用につながるよう調整をしております。

■ 他職種連携会議への参加状況

開催月	会議内容	参加人数
毎月	地域ケア連絡調整会議	ケアマネ3名
毎月	主任ケアマネ部会	主任ケアマネ1名
随時	園内各委員会への参加	1名

※新型コロナウイルス感染症により延期や中止の場合は、文書・書面等により行っております。

■ 外部研修会への参加状況

月 日	研修内容	主催	参加人数
6月13日	令和6年度 総会	広島県介護支援専門員協会 三次ブロック	1名
6月13日	I C Tの活用について	広島県介護支援専門員協会 三次ブロック	1名
10月7日	令和6年度 高齢者虐待防止研修 ※オンライン	広島県地域包括ケア推進セ ンター	1名
2月20日	令和6年度 実務研修実習指導者養成研修 ※オンライン	広島県介護支援専門員協会	1名
3月17日	ケアテックスワン広島 '25	プティックス (株)	3名

5 給食提供事業（栄養課）活動報告

(1) 行事食実施状況

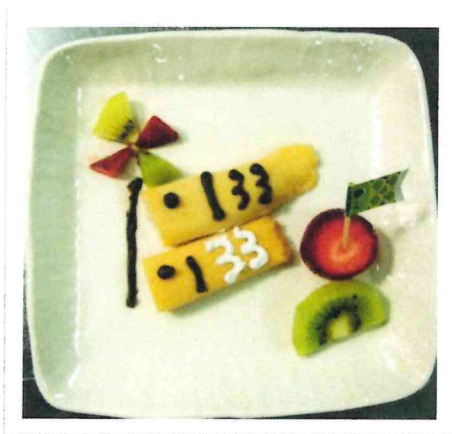
4月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	
5月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	こどもの日メニュー 母の日メニュー
6月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	父の日メニュー
7月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	七夕メニュー 土用の丑の日メニュー 縁日
8月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	
9月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	敬老お祝い膳
10月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	
11月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	
12月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	お楽しみデザート（デイサービス） クリスマスメニュー
1月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	おせち
2月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	節分メニュー
3月	誕生会	お楽しみデザート（養護）	ひな祭りメニュー



(6月 あじさい寿司の盛付け風景)



(1月 おせち料理)



(5月 鯉のぼり)



(8月 フルーツあんみつ)



(11月 柿で紅葉を表現)



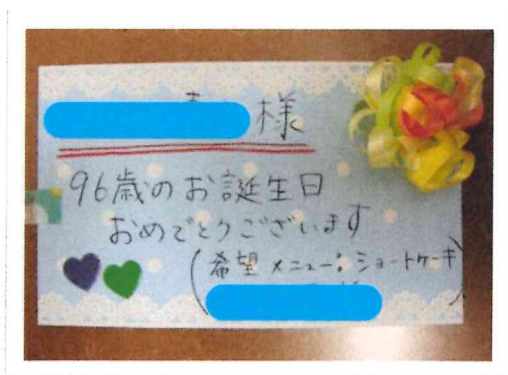
(12月 デイサービスお楽しみデザート)



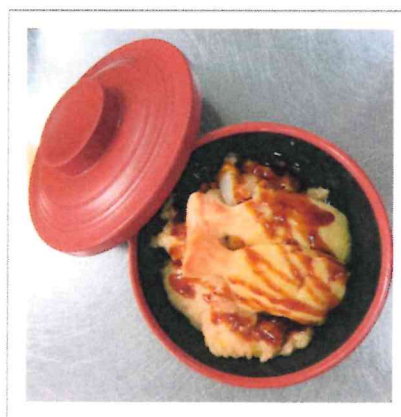
(2月 節分)



(3月 ひな祭り)



(お誕生日カード)



(介護食希望メニューの天丼)

(2) 栄養課加算取得状況

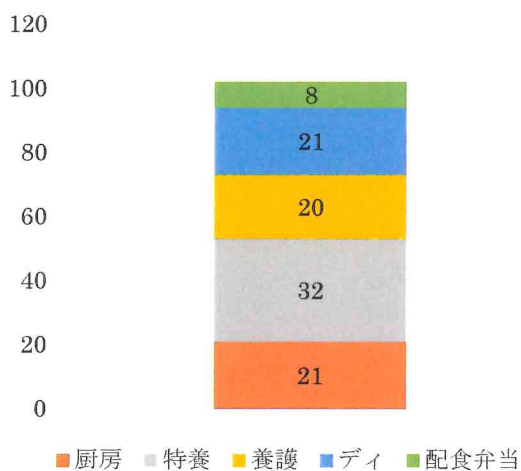
(単位：人)

利用月	経口維持加算 I 400 単位/月	療養食加算 6 単位/食	加算併用	デイ栄養改善加算 月 2 回 200 単位/回
4 月	3 8	2 0	1 2	1
5 月	3 8	1 9	1 1	1
6 月	3 6	1 8	1 0	1
7 月	3 5	1 7	1 0	1
8 月	3 4	1 7	1 0	1
9 月	3 4	1 7	1 0	1
1 0 月	3 7	1 9	1 2	1
1 1 月	2 7	1 9	8	1
1 2 月	2 5	1 9	7	1
1 月	2 6	1 7	8	1
2 月	2 4	1 8	8	1
3 月	1 9	1 7	7	1
合計	3 7 3	2 1 7	1 1 3	1 2

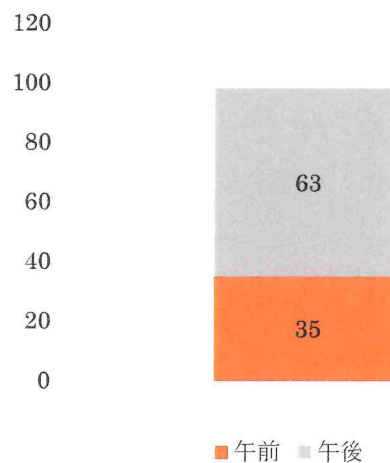
(3) 業務改善の取り組み状況

- ・ヒヤリハットの集計を行い、朝礼や内部研修で報告と原因の解決に向け、情報共有・周知徹底に努めました。
- ・誤配膳・無配膳が年間を通してワースト1で、全体の55.8%を占めました。(昨年度 56.7%)
- ・R4年度、5年度には、再加熱カートの運転スイッチの入れ忘れミスが発生しましたが、再発防止策の確認プレート設置と運転開始確認後に調理員から栄養士への報告(時間を過ぎても報告がない場合には栄養士が声掛けを行い、運転開始の確認をスタッフ全員で行う)というダブルチェック体制が定着し、今年度は運転スイッチの入れ忘れミスは一件も発生することなく、食事提供ができました。

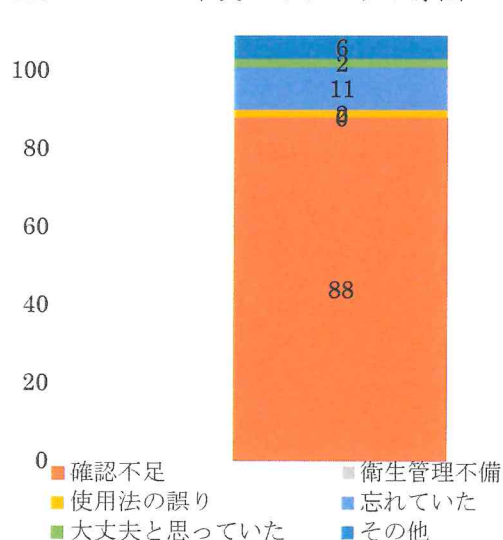
R6年度ヒヤリハット発生場所



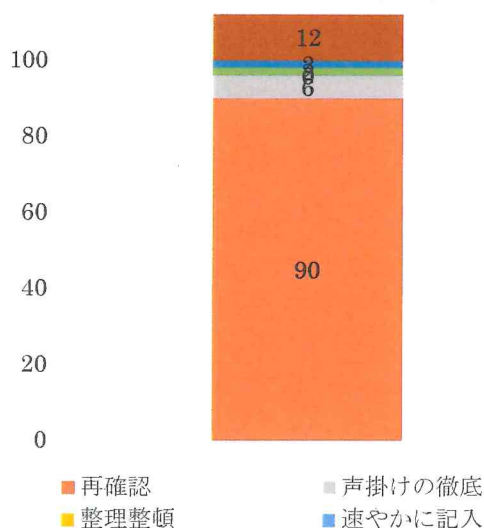
R6年度ヒヤリハット発生時間帯



R6年度ヒヤリハット原因



R6年度ヒヤリハット解決策



(4) 栄養ケアマネジメントの取り組み

- ・ミーティングや月1回の食事委員会等を利用しながら、多職種でのカンファレンスを行い、個々に合った食事形態や食事内容で適正な栄養管理に努めました。
- ・居宅支援事業所との連携でご利用者の健康状態や噛み合わせに留意した配食サービスを実施しました。
- ・デイサービスご利用者様においては、急な食事内容の変更にも柔軟に対応をさせていただきました。また、低栄養の恐れのあるご利用者様には、栄養改善を行うことに取り組みました。

(5) 活動報告（令和6年度重点目標に対する総括）

- ・内部研修会への参加状況は、開催回数も多く知識向上の機会に恵まれましたが、参加者が固定化され、職員全員での積極的な参加が課題となりました。
- ・外部研修会への参加状況は、昨年度同様に、調理員の参加機会は1回のみであったため、1人1回は外部研修へ参加できる環境作りが今年度も課題として残りました。
- ・三次ブロック研究発表会では美和会の代表として、「奥深き手洗いの世界～効果的な手洗いを求めて～」と題し、猪掛主任栄養士が発表を行いました。

<内部研修会への参加状況>

(単位：人)

月 日	研修名	参加人数
4月16日	虐待防止・事故防止・身体拘束適正化への取り組み	0
5月21日	感染症および食中毒予防について	3
6月18日	業務継続計画（BCP）の策定 非常食の活用法・試食会	2
7月23日	三次ブロック研究発表会 美和会予選会①	3
8月6日	三次ブロック研究発表会 美和会予選会②	2
9月17日	身体拘束適正化・虐待防止研修	4
10月15日	介護技術研修会（移乗・移動編）	2

11月19日	感染症および食中毒・業務継続計画（BCP）について	3
12月17日	AED講習	1
毎月	栄養課内部研修会	6
随時	美和会各委員会会議	1

<外部研修会への参加状況>

(単位：人)

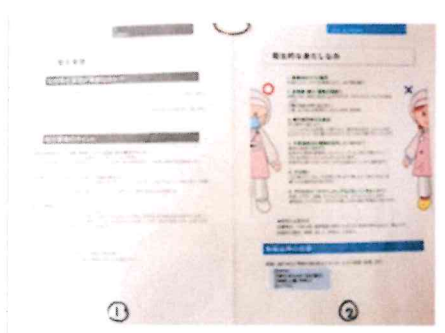
月 日	研修名	参加人数
7月23日	令和6年度第1回備北地域栄養士連絡協議会研修会	1 (栄養士)
11月7日	令和6年度ノロウイルス食中毒予防講習会 (オンライン)	2 (調理員)
11月12日	令和6年度老人福祉施設研究発表会 (三次)	2 (栄養士)
12月7日	キッセイヘルスケアオンライン吉田貞夫先生セミナー	1 (栄養士)
2月19日	令和6年度第2回備北地域栄養士連絡協議会研修会	1 (栄養士)

(ア) イベント食

- ・ 養護の月1回のお楽しみデザートでは、季節感を演出したメニューを考え、盛付にもこだわった普段とは違うデザートの提供に努めました。ご利用者や介護職員にも大変好評で、担当調理員のモチベーションアップにも繋がりました。
- ・ 事業計画には組み込んでいませんでしたが、デイサービスのクリスマスデザートを提供しました。ご利用や介護職員にも大変好評で、来年度も実施して欲しいとの嬉しいお声をいただきました。

(イ) 各種マニュアルの整備・作業の標準化

- ・ 昨年度に引き続き、スタッフの意識付けと衛生管理の標準化を図る目的で、食材委託先のナリコマエンタープライズの衛生管理マニュアルを参考資料にして、朝礼時1日1ページずつスタッフ全員で勉強を行う時間を設け、安心安全な食事提供に努めました。



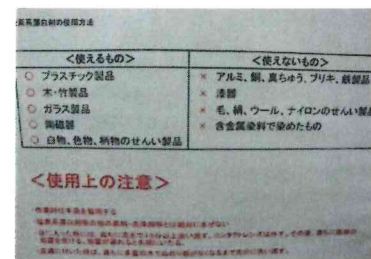
(衛生管理マニュアルの一部)

- ・洗剤類等、これまでは使用量がアバウトであった物を標準化する為に、マニュアルを作成し使用場所に掲示することで、作業の標準化を図ることができました。



酸素系漂白剤 使用量表

お湯	6L	9L	12L	15L	18L	21L	24L
漂白剤	2杯 (60g)	3杯 (90g)	4杯 (120g)	5杯 (150g)	6杯 (180g)	7杯 (210g)	8杯 (240g)



(食器漂白マニュアル)

- ・食材の在庫管理が適切に行われておらず、食材の廃棄処分が課題となっており、食材管理の見直しを行いました。冷凍品は必要数のみ当日解凍とし、無駄な解凍を防止するようにルール化しました。

また、炊飯早見表を作成し、1日の米飯使用量を明確にする事で、無駄な廃棄処分の防止に努めました。

(炊飯早見表)

(ウ) 非常時の対応

- ・6月の内部研修会では、参加職員に班ごとで非常食を作ってもらい、試食を行いました。作り方や食べ易さなど、どのような商品が美和会の非常時に適しているか、意見交換を行いました。
- ・消費管理については、通常の献立に組み込みながら、賞味期限内の消費に努め、消費分の補充を行いました。